

令和3年度 横浜ひなたやま支援学校不祥事ゼロプログラム（検証結果）

横浜ひなたやま支援学校は、不祥事の発生を防ぐことを目的として、次のとおり不祥事ゼロプログラムを定め、1年間取り組んだ。ここに実施結果と目標の達成状況を報告する。

課題	目標	行動計画の実施結果と目標の達成状況
1	法令遵守意識の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・朝の全体打合せで、不祥事防止に係る教育長通知等の周知や注意喚起を行った。また、毎月、不祥事防止職員啓発・点検資料を全職員に配付し、法令遵守や服務規律徹底の意識向上と関連情報の提供を行った。配付した点検表を回収し、必要に応じて適切な判断ができるよう、改めて周知を行った。 ・これらの取組の結果、教職員の法令遵守の意識向上や公務員としての高い倫理観を持った行動意識の向上を図ることができた。
2	体罰、不適切な指導の防止生徒に対する わいせつ・セクハラ行為の防止職場のハラスメント パワハラ、セクハラ、マタハラ等の防止	<ul style="list-style-type: none"> ・7月26日、外部講師を招いて全職員を対象としたわいせつ・セクハラ行為の防止に関する不祥事防止研修会を実施した。テーマを設定し6グループで討議を行った。 ・1月12日、県が作成したDVDを使用して、全職員を対象としたわいせつ事案に関する不祥事防止研修会を実施した。学年をベースにしたグルーピングを行い、設題にそって意見を出し合い、討議を行った。 ・これらの取組を通して、同僚性を高めることの重要性や自分事としてとらえることの大切さ等について、再確認することができた。
3	個人情報等の管理、情報セキュリティ対策 入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	<ul style="list-style-type: none"> ・4月2日、情報担当者による、全職員を対象とした個人情報等の管理、情報セキュリティ対策に関する研修会を実施した。 個人情報取扱いルール等について、全職員で確認することができた。 ・11月25日、令和4年度入学者選抜についての全体打合せを行った。 入学者選抜のマニュアルにそって、個人情報が記載された資料の取扱い等を周知し、適切な管理について、全職員で確認し、計画通り、事故なく入学者選抜を実施することができた。
4	業務執行体制の確保と事故の未然防止	<ul style="list-style-type: none"> ・4月6日、私費会計の処理について、全職員を対象とした研修会を実施した。 ・8月30日、グループリーダーによる、立て替え払いに関する研修会を実施した。また、11月の研修会でも取り上げ、物品購入の際の注意事項を再確認した。 ・文書を起案する際の注意事項等について周知した。 ・繰り返し研修会を設けたことで、適切な私費会計の処理について確認することができた。
5	人権意識を高め、指導力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・7月26日、DVD視聴による拉致問題に関する研修会を実施した。 ・1月7日、外部講師を招いて、全職員を対象としたインターネット上の人権侵害について、研修会を実施した。9グループに分かれて討議を行った。 ・これらの取組で、教職員一人ひとりの人権について考える時間を設定し、人権感覚を高めることができた。

○1年間の取組で一定の成果は得られたと考えるが、特に教職員の人権意識の向上や個人情報の適切な取扱いの徹底については、今後も取り組んでいく必要があると考える。教職員一人ひとりが自分事としてとらえ、事故・不祥事の未然防止に向け、引き続き、効果的な事故防止会議や不祥事防止研修会を実施していきたい。